

海老名災害ボランティアネットワークだより



平成30年12月1日発行 第33号

発行 海老名災害ボランティアネットワーク（海老名災ボラ）
 事務局 海老名市めぐみ町6-3、海老名市社会福祉協議会地域福祉課内
 ホームページアドレス <http://www.ebina-saibora.net/>

参加募集！ 「コーディネーター養成講座2019」

海老名市が大規模な災害の被災地になった場合、海老名市社会福祉協議会が中軸となって「海老名市災害救援ボランティアセンター」が開設されます。その時に、救援ボランティアセンターの運営スタッフが必要になります。社協の職員や災ボラ会員の中からスタッフが選抜されることになっていますが、人員には限界があります。特に、海老名の「被災者のニーズ」を把握し、全国から来る「ボランティア」を結びつける「コーディネーター」役が不足すると思われます。そのため、毎年「コーディネーター養成講座」を開催し、いざという時のために養成講座終了者を登録しています。

《 コーディネーター養成講座2019の案内 》

海老名市社会福祉協議会・海老名災害ボランティアネットワークの共催です。

第1日目：2019年 2月17日（日）10：00～15：00 座学（講義）が主です。

災害時における海老名市の対応、災害時における社会福祉協議会の役割、海老名災害ボランティアネットワークの活動、災害救援ボランティアセンター運営マニュアルの説明、災害救援ボランティアセンター運営の実際などです。当日の昼食は全員で災害食を試食します。

第2日目：2019年 2月24日（日）10：00～12：30 実際の訓練です。

海老名災害救援ボランティアセンター開設訓練、振り返りなど。

会 場：海老名市総合福祉会館（〒243-0438海老名市めぐみ町6-3）

主 催：海老名市社会福祉協議会

海老名災害ボランティアネットワーク

後 援：海老名市

参加費：無料（筆記用具及び昼食・飲料水は各自用意）

対象：原則として海老名市在住・在勤・在学で上記の2日間とも出席できる方。

募集人員：先着30名（両日参加できる方）

問い合わせ先：046-235-0220（社協：新倉）

申込み：電話 046-235-0220、FAX 046-235-0191

E-メール ebina-shakyo@ebina-shakyo.or.jp

「名前・住所・電話・メールアドレス」にて申込をお願いします。

●応募の詳細は下記の広報紙もご覧ください。

「ぬくもり通信」：2019年1月1日号（海老名市社協発行）

「広報えびな」：2019年1月15日号（海老名市発行）



「ビックスキューかながわ」平成30年度神奈川県・海老名市合同総合防災訓練にて 災害救援ボランティアセンターの運営訓練を実施！（社協・災ボラ）

① 被害想定など訓練の条件の設定

災害復旧のためにボランティアの受付、派遣のために開設される「災害救援ボランティアセンター」の立ち上げ訓練を実践に即して実施しました。

【開催日時】平成30年8月26日（日）9時～13時

【中央会場】神奈川県立相模三川公園（相模川の河川敷及び公園事務所）

海老名市総合福祉会館（福祉避難所を想定）、下今泉コミュニティセンター（一般避難所を想定）

【訓練での被害想定】首都直下型地震（海老名市を含む広域災害）

【地震規模】マグニチュード7.3、最大震度6強

【災害救援ボランティアセンターの開設及び運営】に関する訓練

発災後72時間が経過し、大きな余震も減少し、被災状況がある程度わかるようになり、海老名市災害対策本部の要請により、海老名市災害救援ボランティアセンターが海老名市社会福祉協議会及び海老名災害ボランティアネットワークなどを中軸として設置された状況を想定した。

② 被災者対応訓練（被災者ニーズ把握⇒ボランティア派遣の可否等の判定）

・【被災者ニーズ受付・把握】

被災者からの各種ニーズを被災者や避難所などから受けた。

・【ボランティア派遣の判定】

ニーズに基づきボランティアの派遣先などを決めた。

・【ボランティア受付・登録班】

ボランティアの参加者が、氏名・住所・連絡先などを「登録票」に記載し、受付に提出、ボランティア登録を行った。

・【マッチング・送り出し班】被災者ニーズとボランティアの活動希望を結びつけ、ボランティアの安全を確保した上で、被災先へ送り出した。

・【活動資機材班】

ボランティアに必要な資機材を貸し出し、活動後に返却を受けた。

・【帰着報告受付班】ボランティアが帰着したら、ボランティアが安全に作業実施した帰着したか報告を受ける。また活動中に得た各種情報についても報告を受けた。



③ センター本部機能・総務の訓練 ⇒ 総務・渉外班、情報班の活動に関する訓練

・総務・渉外班は、運営担当、広報担当、救護担当に分かれる。運営担当は、海老名市災害対策本部および、関係団体との連絡調整を行なった。救援ボランティアセンター総務班のスタッフ（レスキューバイク隊など）を派遣し、情報収集訓練を行なった。

《 海老名災ボラの活動紹介 》

[I] 私たちは自治会・各種団体の自主防災訓練に参加・協力します

防災訓練に参加・協力して、各種の減災・防災活動の支援を行っております。

① 家の安全点検を自分（家族）で行う

・家の耐震性、家具転倒防止対策、ガラス飛散防止対策、感震ブレーカー設置の対策を実施。

② 水や食料の備蓄は「ローリングストック方式」

・水や食料・日用品を多めに購入し、古い物から消費して補充する。

③ 災害時の「トイレ対策」（水を使わないトイレの使い方）

・水道が止まった場合、水洗トイレを使うことは禁止です。汚水管が破損すると、汚水が溢れ出します。トイレにゴミ袋をかぶせて、固形物として処理することが必要です。

上記のように、地震災害に対する事前の準備についての説明や実演を行っております。

●防災訓練やイベントへの参加・協力 実績（予定を含む）（2018年度）

- ・自治会主催などの自主防災訓練：東柏ヶ谷1・2丁目自治会（11月4日、サンパルク650自治会（11月18日）、海老名コーポラス団地防災委員会（12月2日）
- ・各種イベントに参加して防災・減災についてPR：中央三丁目夏まつり（7月15日）、海老名3館フェス（8月4日）、JA主催ふれあい農業まつり（11月25日）上今泉コミセン祭り（12月2日）

[II] 体験型講座として減災・防災対応訓練を開催

その1「事前の備えと体験型訓練」（2018年11月24日開催）

自分と家族を災害から守る体験講座、海老名災害ボランティアネットワークでは、これから起こるといわれている「首都直下型地震」や「南海トラフ地震」に対して、自分と家族の命を守り、被害を最小限に抑えるための「体験型訓練」を実施しています。

【体験型講座の内容（2018年11月24日）

①災害発生時の命を守る基本行動 （シェイク・アウト訓練）



まず低く 頭を守り 動かない

② 食料・水の備蓄と災害食の経験

③ 災害時のトイレ活用体験

（ブルーシートを活用したテント設置）

④ 家具類の固定方法とガラス飛散防止対策

⑤ 通電火災防止対策（感震ブレーカー）と 停電時の灯りの確保

その2「図上訓練（DIG）地震編の体験学習」（2018年12月8日開催予定）

地震が起きた時に、皆さまのお住まいの近くで、落石の恐れがある場所、倒壊する恐れのあるブロック塀など「危険な場所」はありませんか？ 皆さまの地域で、地震災害に「強いところと弱いところ」などを地図上に記載し、地震が発生した時の被害をイメージして、「地震災害への対応」や「事前準備」について、作成した地図を使い参加者どうして話し合いながら学びます。

[III] 被災地での被災者支援・ボランティア活動

- ・3. 11東日本震災へのボランティアバスでのボランティア活動（2011年以降）
- ・西日本豪雨災害へのボランティアバスでのボランティア活動（2018年） など

海老名災害ボランティアネットワーク 会員募集中！

① 市民の減災・災害対応の「自助」能力を高める活動！

平常時には、市民の皆さんの減災・災害対応の「自助」能力を高めるための諸活動を推進しています。市民向けの体験型訓練、小学校での防災講座（社協の「福祉教室の一環として）、海老名市の各種イベントに参加して防災・減災に関する啓発活動を進めています。

② 海老名が被災地となった時に、災害救援ボランティア・スタッフとしての活動！

海老名市が地震災害などの被災地となった時に、社協が中軸となって設置される「災害救援ボランティアセンター」でスタッフとして活動します。そのための「コーディネーター養成講座」（通常は年1回2日間）を開催しています。

③ 大規模災害が発生した場合に、被災地・被災者支援のボランティア活動へ参加！

東日本大震災のような大規模な地震災害が発生した場合、被災者・被災地への支援活動を行ってきました。新潟地震災害支援、東日本大震災の支援、西日本豪雨災害支援などの活動を実施してきました。

④ 定例会、年会費および申込み

海老名災害ボランティアネットワークでは、年1回の定時総会があり、個人会員の年会費は2000円です。海老名市に在住または在勤の方は会員になることができます。

入会希望者は、下記入会申込書の内容を災ボラ会員か、FAX、メールなど連絡してください。

〒243-0430海老名市めぐみ町6-3海老名市総合福祉会館内

海老名市社会福祉協議会ボランティアセンター 気付 海老名災害ボランティアネットワーク

問い合わせ先：090-2160-4352（海老名災ボラ：福田）

申込み：FAX：045-235-4529 又は、メール：edvn-info@ebina-saibora.netに

「名前・住所・電話・メールアドレス等」にて申込をお願いします。

参考 海老名災害ボランティアネットワーク入会申込書

ふりがな 氏名・団体名 (団体代表者名)		会員	個人 団体 賛助
住 所			
生年月日			
自宅電話			
自宅FAX			
携帯電話			
メールアドレス			

海老名災害ボランティアネットワーク <http://www.ebina-saibora.net>